

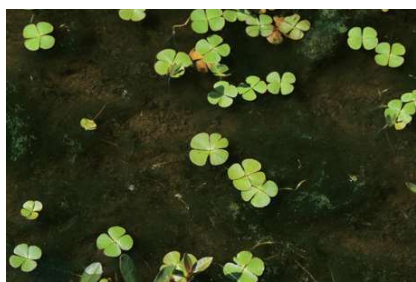
で ■出かけてみよう (5) 水路

●水路にいる生き物

○：希少種

◆：つながり種

▲：外来種



デンジソウ ●

葉が漢字の「田」の字に見えることが
名前の由来。開発や汚染で減っている。



ハグロトンボ ◆ (夏)

大きさ 57-67mm。チョウのようにひらひ
らと舞うように羽ばたく。



アメンボ ◆

大きさ 11-16mm。足先の毛の表面張力
を利用して水面に浮かんでいる。

で ■出かけてみよう (6) 海・運河

●海・運河にいる生き物

○：希少種

◆：つながり種

▲：外来種



ユリカモメ ◆ (冬)

冬場に河口周辺で見られる種。大きさ
40cm ほどで、昼間は池や川にも現れる。



ホシハジロ ◆ (冬)

大きさ 40cm ほど。冬になると渡ってく
る。水中に潜って水草を食べる。



スズキ ◆ (冬)

河口・海環境を代表する種。大き
さ 20-60cm。大きさで呼名が変わる出世魚。

●海釣りを楽しもう

あまがさきしりつうお こうえん
○尼崎市立魚釣り公園



【問い合わせ先】

あまがさきしりつうお こうえん
「尼崎市立魚釣り公園」で検索



あまがさきしりつうお こうえん
尼崎市立魚釣り公園では釣りをすることができます。
初めての人には、釣りのやり方を教えてくれたり、
レンタル竿の用意や売店での仕掛けやえさの
販売もしているため、手ぶらで釣りに来る
ことができます！また釣り大会や、
期間限定のバーベキューなど
様々なイベントも開催しています。



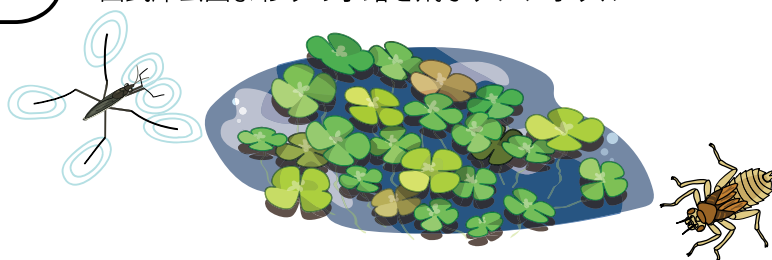
●水路の役割

尼崎市内の様々な場所に、水路が通っています。水路は農業用水路として農業で使う水を運んだり、地上に降った雨を安全に海まで流す役割があります。

また、ホタルやトンボの幼虫、魚など生き物のすみかにもなっています。



西武庫公園まわりの水路を飛ぶゲンジボタル



●運河の役割

南部の工業地帯の物流を支えるとともに、海より低い土地が多い尼崎に海水が流れこまないよう水門を設置したり、ポンプで水を吸い出したりしています。

○水質浄化の取り組み

運河の水は窒素などの栄養や植物プランクトンが多くなっています。栄養やプランクトンは多すぎるとヘドロ発生の原因となるため、生き物の力を使って水をきれいにする取り組みが行われています。

二枚貝

コウロエンカワヒバリガイという二枚貝は汚れた水(左)をきれいな水(右)にしてくれます。



二枚貝が水をきれいにする様子

藻

藻は、水中で増えすぎた栄養を食べてくれます。太陽光を浴びて酸素を作っています。



藻が酸素を出している様子

干潟の生き物

干潟に集まるカニやエビ、ゴカイ、周りにはえるヨシなどが、水をきれいにしてくれます。



人工干潟

※コウロエンカワヒバリガイは、外来種ですが昔から運河にすんでいたため、水質浄化に活用しています。

生き物の力を借りて、水をきれいになっているんだね

